

第七十六回帝國議會 昭和十二年法律第九十號中改正法律案 衆議院 (米穀ノ應急措置ニ關スル件)

委員會會議錄(速記)第十一回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 農地開發法案(政府提出)(第八〇號)

會議

昭和十六年二月二十二日(土曜日)午後一時 五十八分開議 出席委員左ノ如シ

委員長 村上 國吉君 理事愛野時一郎君 理事成島 勇君 理事松浦 伊平君 池田七郎兵衛君

石坂 繁君 小串 清一君 大石 大君 長野 綱良君 釘本 衛雄君 小平 重吉君 坂下仙一郎君 須永 好君 鈴木 文治君 土田 莊助君 平野 力三君 松田喜三郎君 岩瀨 亮君 服部 岩吉君 小畑虎之助君

出席國務大臣左ノ如シ 農林大臣 石黒 忠篤君 出席政府委員左ノ如シ 農林次官 井野 碩哉君 農林省總務局長 周東 英雄君 農林省農政局長 岸 良一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 農地開發法案(政府提出) ○村上委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、昨日申上ゲテ置キマシタ如ク、大臣ニ對スル御質疑ヲ保留サレテ居ルノガアリマス、ソレカラ尙ホ二、三補足質問ガアルコトト察シマス、旁、致シマシテ、大臣カラ答辯ヲ求メルベキモノ、ソレカラ大臣ニ對シテ質疑ヲナスベキモノ、ソレカラ次ニ補足的ノ質

疑ヲ濟マスコトニシマシテ、採決ニ入ルト云フ順序ヲ進ミマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス、先ヅ委員長ヨリ、先日小串君カラ御質問ヲナサレタ食糧増産運動ノ統一方ニ付テ、大臣カラ御答辯ヲ求メテ置イタ答デアリマス、此ノ際大臣ヨリ其ノ御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○石黒國務大臣 先日委員長ヨリ御廻シナリマシタ、食糧増産運動ニ關シマスル御質疑ニ對シマシテ御答ヘヲ申上ゲマス、食糧ノ増産確保ヲ致シマスコトハ、農林省ト致シマシテ、最モ重大ナ責任ヲ持ツテ居ル事項デゴザイマス、隨テ其ノ綜合計畫ハ農林省ニ於テ樹立ヲ致シマスガ、其ノ實行ニ當リマシテハ、農林省ガ中核ト相成リマシテ、地方廳ト密接ナ協力ノ下ニ、關係農業團體ハ勿論、其ノ他關係民間人ニモ動員ヲ要望致シマシテ、増産運動ニ邁進ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、而シテ其ノ實行ニ當リマシテ、増産ニ關スル技術的指導ニ關シマシテハ、從來營業技術指導ノ中心團體デアリマスル系統農會ヲ中心ト致シマシテ、之ニ經驗アル篤農家等ヲ配合致シマシテ、適宜實行ヲ圖リタイト考ヘテ居リマス、而シテ大政翼賛會等ガ政府ノ増産計畫ニ呼應致シテ、地方ニ於ケル實踐運動ヲナスコトハ望マシイコトデゴザイマス、併シ其ノ場合ニ於キマシテハ、十分政府及ビ農業團體等ト連絡ヲ密ニシ、總力ヲ擧ゲテ食糧増産運動ヲ致サシメルヤウ致シタイト考ヘデゴザイマス

○小串委員 只今ノ大臣ノ御答辯デ洵ニ意ヲ強ウシタ譯デアリマス、尙ホ現在農林省ガ食糧増産ノ中核デアツテ、無論農林省デ一切ノ計畫ガ樹立サレテ、他ノ官廳ガ之ニ呼應スルコトハ、御答辯ノ通りデアリマスガ、民間ニ於キマシテモ、ドウモ只今マダ着手シナイ爲メデモアリマセウケレドモ、巧ク行ツテ居ナイヤウナ點ガアリマシテ、是ハ何レモ熱心ニソレヲ憂フル關係デアリマセウケレドモ、色々ノ團體ガ濫立ラシテ居ル状態デアリマシテ、私共ノ考ヘハ今仰セノヤウニ、總テノ産業團體ガ皆一致シナケレバナリマセヌガ、最モ多數ノ農業技術員ヲ包容スル所ノ農會ヲ中心ニシテ指導網ヲ作ラレル、サウシテ最モ必要ナ部落ヲ中心トシ、農事實行組合ト云フヤウナモノヲ主體トシテ、サウシテ直グニ其ノ地方々々ニ中央ノ計畫並ニ現地ニ即スル仕事ガ實現シ得ルヤウニ統括シタイト、此ノ場合色々雜音ガ入りマシテ、眞ニ農業ノ仕事ヲシナイ色々ノ團體ガ、唯名目ノミサウ云フ團體ヲ樹立シテ混ツテ居ルト云フ形ハ、非常ニ遺憾ノ點デアリマシテ、無論サウ云フコトハ十分ニ話合ツテ、又地方長官等ニ於テモ整理ヲシテ貰フヤウニシナケレバナラヌト思ヒマスガ、ドウカ其ノ點ヲ是非一ツ本省ノ方ニ於テモ十分御注意ニナリマシテ、今日ノ最モ忌ムベキ對立、若クハ所謂政治運動ニ墮スルコトノナイヤウニ、特ニ希望致シマシテ、只今ノ御答辯ニ私ハ満足ノ意ヲ表シマス

○村上委員長 大石君ニ對スル質問ヲ許シマス

○大石(大)委員 私ハ昨日政府委員カラ御答辯ヲ得マシタケレドモ、少シ理解シ兼ねル點ガアリマスカラ、一、二御尋ネ致シマス、昨年ノ議會ヲ通過致シマシタ穀物検査法ガ、未ダニ施行ニナツテ居リマセヌガ、ソレハ米穀事情ガ變ツテ來タカラ、ソレデ延期シテ居ルヤウニ伺ヒマシタガ、私ハ米穀事情ガ昨年ノアノ當時ヨリハ變ツテ來タコトモ承知シテ居リマス、米穀事情ガ變ツテ來タカラ、アノ法ヲ一日モ早く施行致シテ、全國ノ穀物検査ヲ統一スルト云フコトガ、刻下ノ急務デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、私ガ考ヘテ居リマス米穀事情ト、政府ガ考ヘテ居ル米穀事情トハ違フカモ知レナイノデ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○石黒國務大臣 米穀事情ヲドウ考ヘテ居ルカト云フコトデアリマスガ、大石サンノ御考ヘト、私共ノ所謂米穀事情トガ、ドウ違ツテ居ルカト云フコトハ、實ハ大石サンノ方ノガ能ク分ラナイモノデスカラ、私ノ方ト何處ガ違フカト云フコトガ申上ゲラレナイノデスカラ、私共ノ申上ゲテ居ル米穀事情ガ變ツタト云フコトヲ一應申上ゲマス、ソレハ米穀事情ガ變ツタカラ、統一的ノ國家検査ニスル必要ガアルト云フ點ニ於キマシテハ、何モ御意見ト變ラナイト存ジマス、唯御承知ノ通りニ、米穀ノ集荷配給ト云フコトヲ、ドウシテモ國家ノ手デ圖ルト云フ部分ガ、昨年から比ベマスと急激ニ強化セラレザルヲ得ナイ状態ニナツテ參ツタ、ソ

第六類第二十一號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會會議錄 第十一回 昭和十六年二月二十二日 二二五

コデ取扱ノ數量等モ非常ニ増加ヲ來シテ參ツテ居ルノデアリマス、數量ノ増加ト同時ニ、所謂消費側ノ爲ニスル米穀検査ト云フ色彩ヲ、非常ニ強クシナケレバナラヌヤウニナツテ參ツテ居ル、詰リ買入レ側ノ検査、從來ノ生産米ノ特別ノ良イ性質ヲ適當ニ認メサセル意味ノ検査ト云フモノカラ、性質ヨリモ寧ロ數量ニ重キヲ置イテ、需要ノ方ガ進ンデ參ツタト云フ現今ニ於キマシテハ、多量ノ米ヲ需要側ノ必要ヲ本ト致シマシテ取扱ツテ行ク、斯ウ云フコトニ變ツテ參ツタノデアリマス、左様ニ國ノ検査ト致シテヤリマス其ノ検査ノ内容ガ變ツテ參リマシタノデ、其ノ點ニ關シマシテ、検査方法ヤ検査ノ項目等ニ關シマシテ、十分ノ調査ヲ致シ、立案ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、其ノ他検査ニ關シマスル制度ノ關係ニ於キマシテモ、餘程考案ヲ變ヘテ掛ラナケレバナラヌト云フコトガ、諸方面ニアリマスノデ、ソレ等ノ關係上、今日施行ヲ暫ク見合セテ居ル譯デアリマス、追テソレ等ヲ速カニ立案致シマシテ、新タニ國營ノ検査ヲ始メタイト云フ考ヘヲ持ツテ居リマス

○大石(大)委員 昨年穀物検査法ヲ審議致シマシタ時ニモ、丁度只今大臣ノ仰シヤツタヤウナ議論ガ澤山出マシタ、一體日本ノ各府縣デヤツテ居ル検査制度ハ、穀物ノ商價値ヲ向上セシメ、市價ヲ高カラシメルト云フコトニ重點ヲ置イテテヤツテ居ル、所ガ事情ガ變ツテ來タ、惡イモノデモ餘計取ラナケレバナラヌト云フコトニナツテ來タカラ、此ノ検査制度ハ時代ニソグハヌモノデハナイカト云フ議論ガ澤山アツタ、ソコデ政府當局ノ方モ色々御研究ヲサレテ、検査制度即チ撰別調製ニ付テハ、隨分具體

的ナ所マデ入りマシテ、固ヨリ本法ニ規定ハアリマセヌガ、依モ二重俵デモ宜シイ、單俵デモ宜シイ、斯ウ云フ所マデ行ツタノデアリマスカラ、御施行ナサレバ、施行法ノ如キモノハ此ノ趣旨ニ於テ出來ルモノト、私共ハ私カニ期待シテ居ツタノデアリマス、所デ此ノ穀物検査法ヲ早く施行スルコトヲ希望致シマシタ所以ノモノハ、今日穀物検査ヲシテ居ナイ縣ハ、恐ラク長崎縣一縣位デ、全國デ検査ヲシテ居ラヌ縣ハ殆ドナイ、而モ各府縣デ個別ニヤツテ居リマスカラ、検査制度ヲ始メタノハ、早イ所デハ三十八年カト思ツテ居リマスケレドモ、其ノ検査ガ相當難カシイ、ソレハ米ノ商品價値ヲ上ゲ、市價ヲ高メルト云フコトニノミ重點ヲ置イテヤツテ居リマスカラ、年々検査ガ高度化シテ、四國ナンカデ今一番農民ガ困ツテ居ルノハ是レナンデス、一俵ノ俵ヲ造ルノニ、昨日モ申上ゲマシタガ、縦繩ヲ掛ケテ、横繩ヲ五箇所結ビマスト、一日一俵シカ出來ナイ、是ハ現ニ試シタノデアリマス、デスカラ、此ノ國家ノ制定致シマシタノ法ガ施行サレタナラバ、各府縣別ニヤツテ居ル農村ノ努力ヲ一番殺グ所ノ、此ノ米ノ撰別調製ト云フモノガ非常ニ緩和セラレル、隨テ其ノ努力ヲ増産ノ方ニ持ツテ行ク、斯ウ云フ見地カラ昨日御尋ネシタノデアリマス、併シ色々ナ事情デ、マダ施行出來ヌト致シマシタナラバ、各府縣ニ於テヤツテ居リマス、アノ極端ナ嚴格ナル制度ヲ變ヘルナリ、手心ヲ用ヒテ、其ノ方ニ澤山殺イデ居リマス努力ヲ増産ノ方ニ活カシテ行ク、斯ウ云フ御考ヘハ大臣ノ方ニハオアリデナイデセウカ、サウスルナラバ、各府縣ニ指令ヲ致シマシテ、何等カ方法ヲ講ジテ戴ケバ、農

村ノ努力ヲ節減スルコト夥シイモノト存ジマス

○石黑國務大臣 御話ノヤウニ穀物検査ノ制度ヲ國營ト致シマシテ、之ニ付テ嚴密デアツタ所ト、サウデナイ所トヲ、成ベク一様ノモノニスルト云フコトハ、是ハ米穀事情ガ斯様ニナリマシタ上ニ於キマシテハ、努ムベキ一面ダト私モ考ヘルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ、速カニ本年度ヨリ行ツテ行ツタラ宜イデハナイカト云フヤウナ御考ヘモアルヤウデアリマス、サウ云フ風ニ吾モ考ヘラレルノデアリマス、併シ御承知ノ通りニ、米穀ノ國家管理ト云フモノヲ強度ニ進メルト云フコトガ、十一月カラ初メテヤリマシタヤウナ次第デ、殊ニ秘密會デモ申上ゲマシタヤウナ需給ノ狀況デアリマスカラ、消費規正ノ方ヤアルト同時ニ、政府米ノ増強ト云フコトヲ速カニ圖ツテ置カナケレバナラヌト云フヤウナ事情モアリマスノデ、實質ノ仕事ヲ致シマスル力ノ入レ所ガ、ドウモ集荷買上ト云フコトニ已ムヲ得ズ重點ヲ置クコトニナルノデアリマス、其ノ爲ニ實ハ甚ダ吾々農林行政部内ニ於テノ矛盾ノヤウナコトニナリマスカラ、農業技術員モ實ハ集荷買上ト云フヤウナ事務ニ從事シテ貫ハナケレバナラヌト云フヤウナコトデ、生産ノ増加ノ方ニ十分ノ力ヲ持ツテ行ケナイヤウナ、相濟マナイ狀態ニナツテ居ルヤウナ譯デ、ソコニ簡略ト申シナガラ新シイ制度ヲ布キマシテ、サウシテ新シイ統一シタ検査ノ下ニ於テヤルト云フコトハ、色々ナ新シイヤリ方ヲ一度ニヤルコトニナリマスノデ、ソレ等ヲ一齊ニ揃ツテヤルコトガ出來レバ、之ニ越シタコトハナイノデアリマスケレドモ、ドウモ大キナ

變革ヲヤリマス際ニハ、總テヲ描ヘテ一度ニヤルト云フ譯ニハ參リマセヌ、主要目的ノ所ニドウシテモ重點ガ置カレテ、順次ニ實現シテ行クト云フコトヨリ外ナイト考ヘ

ルノデアリマス、殊ニ米穀國家管理ノ大幅ノ仕事ヲヤツテ、少クトモ第一年度ノ實驗ヲ經マシタ上ニ於キマシテ、穀物検査事業ニ對シマシテモ、統一のニヤル要點ト云フヤウナコトノ經驗ヲ積ミマシテ、少クトモ一年ノ經驗デモ、ソレニ依ル實際ノ方法ヲ考ヘマスル資料ヲ得マシタ上デ能クヤリタイ、斯ウ云フ考ヘデ居ル次第デアリマス、其ノ爲ニ本年ハ一面國家管理ヲ廣クヤリマシタニ拘ラズ、検査ハ從來ノソレノ縣デ分立シテ居ツタノデ以テヤツテ行クト云フ、ソグハナイ狀態ヲ呈シテ居ルコトハ、洵ニ十分ダトハ考ヘマセヌケレドモ、已ムヲ得ナイ經過時代ト御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大石(大)委員 エライシツコイヤウデアリマスガ、ドウモ私ノ表現ノ仕方ガ惡カツタカモ知レマセヌケレドモ、私ノ御尋ネ致シマシタノハサウデハアアリマセヌ、今各府縣デヤツテ居リマス検査制度ト云フモノハ、概ネ非常ニ嚴格デアアル、今日ト雖モアノ撰別調製ハ非常ニ嚴格デアアルカラ、其ノ方ニ非常ニ手ヲ取ラレル、殊ニ小作人ノ如キハ、今日努力不足デアアル、其ノ努力ヲ他ノ方面ニ賣リマスカラバ、百姓ヲスルヨリモ宜イト云フコトカラ、段々農業ヲ離レル、増産ト云フコトヲ目的ニ各府縣デ區々ニヤツテ居ル、洵ニ農民ガ一番苦痛トシテ居ル此ノ制度ヲ清算スルノニハ、昨年通過シタ法案ヲ適用スルノガ宜イデハナイカ、又ソレガ色々ナ事情デ出來ナイナラバ、各府縣デ今

ヤツテ居ルアノ極端ナ、非常ナ手間ヲ取ル、一等米ヲ作ラウトスレバ、八、九回モ撰別機ニ掛ケナケレバナラヌ、サウシテ屑米ヲ拵ヘルヤウナ、此ノ屑米ハ政府ノ御買上ニナラヌモノデアリマス、サウ云フ風ナ食糧確保ノ上ニ於テモ弊害ガアリ、又ソレガ爲ニ勞力ヲ取ラレル爲ニ、増産ニ其ノ勞力ヲ持ツテ行ケナイ、斯ウ云フ事情デアリマスカラ、今各府縣デヤツテ居ル検査ニ對シテ、何カ中央カラ訓令ヲ出スカ、指令ヲ出スカシテ、モウ少シ簡單ニ行クヤウニナサル御意思ハナイカト云フコトヲ御尋ネシタイ、此ノ手間ヲ増産ニ向ケタラドウカト云フ御尋ネデアリマス

○石黒國務大臣 能ク分リマシタ、農民ノ調整、俵裝等ニ要シマスル勞力ヲ簡易ニシテ、増産ノ方ニ向ケルコトハ、洵ニ肝要ナコトダト考ヘマス、政府買上米ニ付キマシテモ、實ハ從來ノ平常ノ政府買上米ヨリハ、事實ノ所非常ニ數量ヲ餘計買上ゲタイト云フ考ヘデ、可ナリ簡略ニ事實上ナツテ來テ居ルト思ヒマス、又斯ウ云フ事態ニ即シマス自然ノ必要上、買上米以外ノ管理米ニ關シマシテモ、事實ハ一等米ダカラ、非常ニ俵ノ鬚モ撈ルト云ツタヤウナ、舊來ノヤウナコトハ、事實上今検査員等ガ要求シテ居ラナイト思フノデアリマス、本年ハ兎モ角モ此ノ程度デアリマシテ、將來ハ速カニ色々ナ點ヲ出來ルダケ簡便ニ致シテ、新米穀事情ガ要求致シマスル検査ヲ成ベク統一ニヤリマシテ、調整、俵裝——主トシテ俵裝ニ要シマス農家ノ勞力ヲ成ベク省イテ、生産ニ向ケサセルト云フ方針デ參リタイト考ヘテ居リマス

永小作權ニ付テ御尋ネ致シマシタガ、先般石坂君ノ大臣ニ對スル質問ノ御答ヘニ、自作農ノ創定等ト既合ハセテ、追々ニ整理ヲナサルト云フ御答辯デアリマシタ、昨日司法省ノ政府委員ノ出席ヲ求メマシテ御尋ネシタノデアリマスガ、司法省ノ方デハ、只今ノ民法施行法ノ第四十七條第三項ノ改正ハ、一ニ農林省ノ調査ノ結果ヲ待ツテ居ル、斯ウ云フコトデアリマス、モウアト七箇年シカ期間ガアリマセヌ、隨テ高知縣アタリデハ、永小作權者ハ之ニ相當不安ヲ持ツテ居リマス、殆ド過去三十年ノ永イ間、中央カラ調査ニハ見エラレマスガ、マダ一向制度化シナイ、一體農民ガ土地ニ對シマス所ノ觀念ト申シマスカ、愛着ニ動搖ヲ來シマスコトハ、忽チ増産ニ惡イ影響ヲ及ボシマスコトヲ考ヘマス時ニ、實例ヲ申上ゲマスト、高知縣ノ舊慣永小作ト云フモノハ、所有權ニ等シイノデアリマス、現ニ地租法ノ第七十條第二項ニハ、自作農ト看做ストナツテ居ツテ、殆ド自作農ト同ジヤウニ見テ居リマス、之ヲ祖先ニ享ケテ子孫ニ傳ヘル自分ノ所有ノ不動産ダト思ツテ居ル、ソレ程ノ大事ナ現在ノ制度ガ、今ナクナラウトシテ居ルノデアリマス、何レドウニカナルダラウト云フ考ヘモアリマセウケレドモ、ドウニモナルモノデアリマセヌ、ソレ等ノ農民ハ、其ノ永小作權ヲ擔保ニシテ、ソレニ依ツテ金融ノ途ヲ圖ツテ居リマスガ、此ノ頃ハ之ヲ擔保ニハ銀行ナド取リマセヌ、又擔保ニ入ツテ居ルモノモ、モウ期限ガ段々ナクナツテ來タカラ、何トカ一ツ拂ウテ呉レト言フシ、然ラザレバ再擔保ヲ入レテ呉レ、斯ウ云フコトヲ金融業者ハ言ウテ參リマス、是亦金融業者トシテハ無理カラ

○大石(大)委員 昨日政府委員ノ方ニ舊慣

スコトデアリマス、隨テ之ヲ自作農ノ創定ト相俟ツテ徐ロニ整理ナサルト云フコトハ、實際事情カラ申シマス、其ノ餘裕ハナイ、殊ニ一昨年ノ議會ニ於テ、現行ノ農地調整法ノ通過ノ時ニハ、時ノ政府ハ、明年度トハ申シマセヌガ、極メテ近イ内ニ立法化スル、斯ウ云フ言明ヲ得タノデ、委員會デハ修正ノ意見デアリマシタケレドモ、修正セラレナカツタ、サウシテ又附帶決議モ、速カニ整理ヲ行フナリ、其ノ他ノ方法ヲ講ジテ戴キタイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フ關係デアリマスカラ、自作農ノ創定ト既合ハセテト云フヤウナ悠長ナ御考ヘハ、此ノ際放擲ナサツテ、速カニ是等永小作權者ノ不安ヲ除去スルヤウナ方法ヲ執ツテ下サル御考ヘハナイカ、御尋ネ致シタイトデアリマス、尤モ昨年ノ春ノ議會ニ、農林當局ニ御尋ネ致シマシタラ、今ハ事變中デアアル、戰時ニ即應スベキ施設ノミニ農林省ハ追ハレテ居ルカラ、サウ云フ恒久的ノモノハ、事變ガ濟ムマデ延期シタイト云フコトデアリマシタガ、成程マダ一昨年カラ昨年ノ春アタリノ情勢ハ、サウ云フ考ヘ方ガ適當デアツタカモ知レマセヌガ、今日ノ情勢カラ見マスナラバ、果シテ事變ト云フモノハ何時濟ムカ分ラナイ、日支事變ガ片付キマシテモ、又大キナ事變ガ來ルカモ知レナイ、來ナイニシテモ國際情勢カラ考ヘレバ、此ノ不安ノ状態ハ相當續クダラウト思フ、斯ウ云フ點カラ申シマシテモ、事變ガ濟ンデ後ト云フヤウナ考ヘ方ハ拋棄サレテ、速カニ適當ノ手段ヲ執ラレ

○石黒國務大臣 私が永小作權ノ處理ヲ、

自作農ノ創定ノ施設ニ依リマシテ、解消致シタモノガ相當ニアルト云フコトヲ申上ゲ、將來ニ於テモ此ノ制度ヲ活用致シテ、出來ルダケ解消ヲシテ參リタイト、斯ウ申上ゲタコトハ、ソレニ依ツテユル／＼ヤルト云ツタヤウナ意味デアリマセヌ、尤モ今日アリマス制度ヲ活用致シテ、事實上法律的ニ非常ニ困難ナ、又立法上或ル意味ニ於テ誤ツタ立法ヲ民法ニ於テ致シテ、更ニ施行法ニ於テ稍、改善ヲ致サレマシタガ、併シナガラソレデモ本當ニ當ヲ得タモノニナツテ居ラナイト云ツタヤウナ、難カシイ問題ヲ解決シテ行クノニハ、他面財政的ノ援助ヲ伴ツテ居ル施設デ以テ、事實上ノ解消ヲ致スノガ一番宜イヤリ方ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、之ヲ權利ノ問題トシテ議論ヲシテ居リマシタナラバ、一面ニ於テ永小作權者ガ主張致シ、一面ニ於テ所有權者ガ過去ノ立法ニ根據ヲ求メテ議論ヲシテ居ツタ所ガ中々ハ難カシイコトダト思フ、サウ云フヤウナ意味ニ於キマシテ、解決ノ早キヲ御同様ニ私ハ旨ト致シマスル故ニ、現在吾々ノ與ヘラレテ居ル此ノ手段ヲ用ヒテ、過去ニ於テ解決ヲ致シマシタ實例モアリマスルカラ、十分努メテ行キタイト云フコトヲ申シマシタノデ、ユル／＼ヤルト云フヤウナ考ヘガアルノデヤゴザイマセヌカラ、其ノ點ハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテソレ以外ニ於テ法律的解決ヲヤルト云フコトヲ、前内閣デアリマスカ、前々内閣デアリマスカ、或ハ其ノ兩者デアリマスカ、或ル程度議會ニ公約ヲ致シマシタコトハ、是ハ内閣ガ決ツテモ、政府ト致シマシテハ十分ニ尊重致シマシテ、出來ルダケ努メナケレバナラヌコトヲ考ヘテ居リマス

第六類第二十一號 昭和十二年法律第九十號中改正法律案(米穀ノ應急措置ニ關スル件)委員會議錄 第十一回 昭和十六年二月二十二日 一一七

ルカラ、善處致シタイト考ヘテ居リマス
○村上委員長 補足質問ニ入りマス——松田君

○松田(喜)委員 此ノ法案實施ニ當リマシテ、開墾並ニ耕地ノ改良施設、或ハ農業水利改良施設ト云フヤウナ、斯フ云フモノニ對シマシテ、二十五町歩ハ、營團ニヤラセテ、以下ハ自作農創設ガ八万町歩デアリマシテ、其ノ他ガ十七万町歩、計二十五万町歩、合計ガ五十万町歩ニナルノデアリマスルガ、ソコデ私ガ御尋ネシタウゴザイマスノハ、營團ノ方ハ五十町歩以上、其ノ他ハ五十町歩以下ニ對シテモ補助スルト云フコトデアリマスルガ、其ノ五十町歩以下ト云フモノハ、以下デアリマスルカラ、一段デモ、五畝デモ、其ノ以下ノ部ニ入ルノデアルカ、ナイカト云フコトヲ、先ツ御尋ネシテ置キタイノデアリマス

○周東政府委員 其ノ通りデゴザイマス
○松田(喜)委員 其ノ次ハ補助ノコトニ付テ承リタイト思ヒマスガ、先般營團ニ對シテハ六割ノ補助ヲスル、營團以外ノモノハ四割ト云フコトデアリマシタ、ソコデ一ツ確メテ置カネバナリマセヌコトハ、營團以外デアリマシテモ、從來ノ用排水幹線事業トカ、農用公共施設ニ付キマシテハ、用排水ノ方ハ、五百町歩以上ハ五割ノ補助ガアリ、農用公共施設ノ方ハ、百町歩以上ハ五割ノ補助ガアルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ變リハアリマセヌカ、聞カシテ戴キタイ

○周東政府委員 私カラ便宜上一寸只今ノ御質問ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、營團ノ行ヒマス事業、即チ一地區五十町歩以上ノ集團地ノ開發事業、面積三千町歩以上ニ

互ル大規模ノ開發事業ニ付キマシテハ六割デゴザイマシテ、是ハ御話ノ通りデアリマス、併シ民間ノ事業ニ付キマシテハ、全部四割ト云フ譯デハナイノデアリマシテ、道府縣市町村其ノ他ノ民間團體ノ行ヒマス中デモ、關係面積百町歩以上ノ農業水利改良事業ニ付キマシテハ、ヤハリ五割ノ補助ヲ致ス、其ノ他ノ百町歩未満ノモノニ付テハ四割、其ノ他ノ開墾事業、暗渠、排水、床締、客土、地下、水源開發事業等ハ四割デアリマス

○松田(喜)委員 今度ハ大臣ニ御尋ネ致シマス、只今ノ御説明ニモアリマシタガ、此ノ一般ノモノニ對シテ、百町歩以上ハ五割ノ補助ヲヤルト云フコトニナツテ居リマスルガ、以下ノ者ニ對シテハ四割デアツテ、營團ノ方ハ六割デアルト云フコトニ付テハ、餘リ差ガアル、之ニ付テ同等ニマデ補助ヲ増額スルト云フ御意思ハナイカト云フコトヲ、先般大臣ニ承ツタノデアリマシタガ、何故吾々ガ斯ウ云フコトヲ申シマスカト云フト……

○村上委員長 松田君、一寸御待チ下サシ、其ノコトハ委員長ノ方カラ申シマス
○松田(喜)委員 是ダケハ一口言ハシテ貰ヒタイ、山林ヲ買入レテ開發シマス、一反ノ山ヲ百三圓ニ見立テ、之ヲ開墾スルノニハ七十二圓ノ勞力ヲ要スルトカ云フヤウニ聞キマシタガ、ソレガ違フカ違ハヌカ知リマセヌガ、私ハサウダラウカト思ツテ居リマス、サウ致シマシテ四割ノ補助シカ呉レマセト、百七十五圓金ガ要ルノニ、二十八圓八十錢デアリマスルカラ、タツタ一割六分補助スルトニナルノデアリマス、畑ノ方デ云ヒマス、畑ノ買入レガ先般二

百八十八圓ト聞キマシタ、勞力ノ方ハ二百三十二圓位デヤナイカト思ヒマス、サウスルト五百二十圓ニナリマシテ補助ガ九十二圓八十錢ノ補助デアリマス、タツタ一割八分ニ當ル、田ノ方ハ補助ヲ四割呉レト云フコトガ、事實ニ於テハ一割八分ニナリ、畑ノ方ハ事實ニ於テハ一割六分ニナルカラ、是ニ於テ非常ナル不公平ガアルガ故ニ大臣ニ質問致シマシタラ、是ハ少シ考ヘテ見ヨウト云フ御話デアリマシタガ、此ノ點大臣御持チノ御意見ニ付キマシテ御尋ネ致シタイトデアリマス

○村上委員長 只今松田君カラ御尋ネニナリマシタコトニ關聯シテ、委員長カラ委員全員ノ意思ヲ代表シタ立場カラシテ御尋ネヲ致シ、希望ヲ申上ゲタイト思フノデゴザイマス、ソレハ只今松田君ノ質問サレタコトニ對シテ、政府委員カラ答辯ノアリマシタ如クニ、此ノ農地開發事業ノ中デ、營團ノ施設スルモノト、然ラザルモノトノ間ニハ、補助率ニ餘リニ大キナ相違ガアル、斯ノ如キハ此ノ大ナル計畫ヲ圓滑ニ且ツ完全ニ遂行スル上ニ、幾多ノ支障ヲ生ズルコトヲ恐レル、サウシタコトカラシテ、此ノ營團ト然ラザルモノトノ差別ヲ設ケルコトハ、適當デナイト云フノガ、委員全員ノ意思デアルト御諒解下サレテ誤リガアリマセヌ、隨テ此ノコトハ政府ノ態度如何ニ依ツテハ、此ノ問題ヲ決スル上ニモ、大キナ影響ヲ齎ラスコトデアリマスルカラシテ、此ノ際ニ對シテ大臣ガ如何ナル御處置ヲ執ラレカト云フコトヲ、明瞭ニ致シテ置キタイト思フデアリマス、重ねテ申シマスガ、斯ノ營團ノ施設スルモノト然ラザルモノトノ間ニ、大ナル補助率ニ違ヒノアルト云フ

コトハイケナイ、斯ウ云フ見解デアリマスカラ、其ノ御積リデ御答辯ヲ希望致シマス
○石黑國務大臣 營團ノ行ヒマス事業ト、其ノ他ノモノトノ規模ノ大小、隨ヒマシテ工事ノ難易ト云フコトニ、政府ハ區別ガアルト考ヘマシテ、之ヲ成立タセル上ニ於キマシテハ、補助率ニ違ヒガアツテ然ルベシト考ヘテ出シタノデアリマス、只今ノ所提案ヲ致シマシタモノニ付テ、慎重御審議戴キマシタ結果ガ、極メテ地方事情ニ御通達ノ、殊ニ農事熱心ノ委員各位ガ一致ヲサレテ、之ニ區別ガアルコトハ然ルベカラズト考ヘラレタト云フコトハ、極メテ慎重ナ考慮ヲ要スル御指摘ダト考ヘマス、併シナガラ原案ニ於キマシテハ、御覽ノ通りノ區別ヲ致シテ出シテ居ルノデアリマス、此ノ點ガ本案ヲ決定ヲ致スノニ重大ナ關係ガアルト云フ御話デアリマスガ、只今之ヲ變ヘテ參リマスコトヲ、此處デ御言明申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、併シ農村問題ニ付テ非常ニ御熱心ナ、各地ノ實情ニ通曉セラレテ居ル委員各位ノ一致ノ御意見ト云フ以上ハ、私トシテ十分ニ尊重致シテ、將來慎重ナ調査モ致シ、又之ヲ區別シタコトニ付テ再考致由ガアリヤナシヤト云フコトニ付テ再考致シマス

○松浦(伊)委員 暫時休憩シテ、今ノ問題ニ對シテ政府ト能ク懇談ヲシテ戴キタイ
○村上委員長 ドウモ此ノ際困リマス
○松浦(伊)委員 私ハ只今大臣ノ御答辯ニ満足シ兼ネルノデアリマス、考慮スルト云フコトニ付テハ、考慮シテイケナカツタラ仕方ガナイコトニナル、茲ニ本案ノ重要骨子トスル助成金ノ問題ガ、一方デ六割デアリ、一方デ四割、斯ウ云フ工合ニナツテ居

○松浦(伊)委員 暫時休憩シテ、今ノ問題ニ對シテ政府ト能ク懇談ヲシテ戴キタイ
○村上委員長 ドウモ此ノ際困リマス
○松浦(伊)委員 私ハ只今大臣ノ御答辯ニ満足シ兼ネルノデアリマス、考慮スルト云フコトニ付テハ、考慮シテイケナカツタラ仕方ガナイコトニナル、茲ニ本案ノ重要骨子トスル助成金ノ問題ガ、一方デ六割デアリ、一方デ四割、斯ウ云フ工合ニナツテ居

○松浦(伊)委員 暫時休憩シテ、今ノ問題ニ對シテ政府ト能ク懇談ヲシテ戴キタイ
○村上委員長 ドウモ此ノ際困リマス
○松浦(伊)委員 私ハ只今大臣ノ御答辯ニ満足シ兼ネルノデアリマス、考慮スルト云フコトニ付テハ、考慮シテイケナカツタラ仕方ガナイコトニナル、茲ニ本案ノ重要骨子トスル助成金ノ問題ガ、一方デ六割デアリ、一方デ四割、斯ウ云フ工合ニナツテ居

○周東政府委員 私カラ便宜上一寸只今ノ御質問ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、營團ノ行ヒマス事業、即チ一地區五十町歩以上ノ集團地ノ開發事業、面積三千町歩以上ニ

互ル大規模ノ開發事業ニ付キマシテハ六割デゴザイマシテ、是ハ御話ノ通りデアリマス、併シ民間ノ事業ニ付キマシテハ、全部四割ト云フ譯デハナイノデアリマシテ、道府縣市町村其ノ他ノ民間團體ノ行ヒマス中デモ、關係面積百町歩以上ノ農業水利改良事業ニ付キマシテハ、ヤハリ五割ノ補助ヲ致ス、其ノ他ノ百町歩未満ノモノニ付テハ四割、其ノ他ノ開墾事業、暗渠、排水、床締、客土、地下、水源開發事業等ハ四割デアリマス

○村上委員長 松田君、一寸御待チ下サシ、其ノコトハ委員長ノ方カラ申シマス
○松田(喜)委員 是ダケハ一口言ハシテ貰ヒタイ、山林ヲ買入レテ開發シマス、一反ノ山ヲ百三圓ニ見立テ、之ヲ開墾スルノニハ七十二圓ノ勞力ヲ要スルトカ云フヤウニ聞キマシタガ、ソレガ違フカ違ハヌカ知リマセヌガ、私ハサウダラウカト思ツテ居リマス、サウ致シマシテ四割ノ補助シカ呉レマセト、百七十五圓金ガ要ルノニ、二十八圓八十錢デアリマスルカラ、タツタ一割六分補助スルトニナルノデアリマス、畑ノ方デ云ヒマス、畑ノ買入レガ先般二

○松浦(伊)委員 暫時休憩シテ、今ノ問題ニ對シテ政府ト能ク懇談ヲシテ戴キタイ
○村上委員長 ドウモ此ノ際困リマス
○松浦(伊)委員 私ハ只今大臣ノ御答辯ニ満足シ兼ネルノデアリマス、考慮スルト云フコトニ付テハ、考慮シテイケナカツタラ仕方ガナイコトニナル、茲ニ本案ノ重要骨子トスル助成金ノ問題ガ、一方デ六割デアリ、一方デ四割、斯ウ云フ工合ニナツテ居

ルノデアリマスカラ、此ノ際私ハモウ少シ
政府ノ態度ヲ明カニシテ貫ヒタイ、大臣ニ
私ハ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイ、斯様ニ考
ヘルノデアリマス

○村上委員長 其ノ點ニ付テハ委員長ノ考
ヘハ少シ違フヤウニ思ヒマス、大臣ハドウ
スルト約束ハサレナイノダケレドモ、考慮
スルト云フコトダケハ、御約束ナサレタ
了解スルノデスガ、如何デスカ

〔大臣ノ答辯ハハツキリシテ居リマス〕
ト呼ブ者アリ

○松浦伊委員 ハツキリシテ居ルト云フ
御話デゴザイマスガ、大臣モモウ少シ具體
的ニ進ンデ宜カラウトフ思ノデス、如何デ
ゴザイマセウカ

○村上委員長 委員長ハ考慮スルト云フ
コトヲ御約束ナサレタカラ、是デ宜イトシ
テ進行スベキダト思ヒマス

○服部(岩)委員 只今委員長ヲ通ジテ、吾
々委員ノ最モ本案ニ對シテ疑義ヲ持ツテ居
ル點ヲ質サレマシタ所、大臣ヨリハ、只今
豫算モ出テ居ル關係デ、此ノ場合豫算ヲ直
スト云フヤウナコトハ出来ナイガ、今後其
ノ施行ニ當ツテハ、其ノ點ニ付テ十分ニ考
慮スルト云フコトヲ、吾々ニ約束サレタ
モノト確信致シテ居リマス、隨テ私共ハ、
只今ノ大臣ノ聲明ニ依リマシテ満足ヲ致シ
タイ、斯様ニ存ジテ居リマス、議事ノ進行
ヲ願ヒマス

○石黒國務大臣 私ノ申上ゲタコトニ誤解
ガアルトイケマセウカラ、重ねテ申上ゲマ
ス、ドウモ私ノ申上ゲ方モ、ハツキリシナ
イト云フコトデアリマスガ、御意見モ實ハ
ハツキリシナイ、之ヲ一樣ニシロト云フコ
トデアルナラバ、一樣ニシサヘスレバ宜シ

ノカ、サウヂヤナカラウト思フ、營團以外
ノ開墾ニ對スル助成ヲ、モウ少シ増率ヲス
ベキデアルト云フ御主張ナノデハナイカ、
斯ウ私ハ思フ、若シモ之ヲ一律ニスベシト
云フ御議論デアレバ、豫算ハ出テ居リマス
ケレドモ、低イ方ニ一律ニスルノハ、不用
額ヲ出セバ出来ル、併シサウ云フ御要望デ
ヤナイヤウニ、從來カラノ委員會ノ經過ヲ
承ツテ居ル、ソコデ然ラバノ同様ニスル
カト申シマス、只今服部サンノ申サレタ
通りニ、計畫ヲ立テテ、區別シテ然ルベシ
ト考ヘマシテ要求モ致シタノデアリマス、
又財務當局モソレヲ然ルベシト考ヘテ出シ
テ居ルノデアリマスルカラ、今之ヲドウス
ルト云フコトヲ此ノ際申上ゲル譯ニ行カ
ナイ、ソコデ將來ノ問題ト致シマシテ、成
ベク營團ト同ジニ致シマスガ、ドウ致シマ
スカ、私ノ心得デハ營團以外ノモノノ助成
ノ率ガ是デハ少イ、近付ケルヤウニスル、
等シクスルト云フコトガ御要望ノヤウデア
ルト云フ御要望ノヤウニ思ヒマスカラ、左
様ニ致スコトガ適當カドウカ、私共ハ區別
ヲ致シテ居ルコトガ宜シト思ツテ出シテ
居ルケレドモ、皆サンノ御一致ノ御意見ダ
ト云フコトデアリマスカラ、慎重ニ考慮ヲ
致シマシテ、將來ト致シマシテハ、研究ノ上
デ適當ニ善處致シタイ、斯ウ考ヘテ居ルト
云フ意味デゴザイマスカラ、左様御承知ヲ
願ヒマス

○松浦(伊)委員 私ハ大臣ノ御答辯ニ於
テ、當豫算ニ付テハ左様ニ承服スルモノデ
アリマス、更ニ同種ノ事業ガ七十五議會ノ
追加豫算ニ、總力七千万圓、數箇年ノ繼續事
業デ、西日本ノ早害恒久對策ト云フ事業ガ、

豫算面ニ現ハレテ居ルノデアリマス、是モ
本案ト同様ノ御扱ヒヲナサル御考ヘデアリ
マスガ、之ヲ御尋ネ申上ゲマス

○石黒國務大臣 私共ハ此ノ程度ノ區別デ
宜シト思ツテ本案ヲ出シテ居ルガ、委員
諸君カラ、ソレデハイカヌカラ、營團以
外ノ開墾ニモ同率ニヤレト云フ御一致ノ御
意見デアルカラ、ソレハ十分ニ尊重シテ考
慮致スコト云フコトヲ申シタ、ソコデ西部ノ
早害ノ問題ニ付テハドウスルカ、是ハ提案
者トシテハ考ヘテ居ラナイ、是亦皆サン全
員ノ御希望デアリ、委員長ヲ通ジテノ強イ
御要求デアルト致シマスナラバ、慎重ニ考
慮ヲ致シマス

○松浦(伊)委員 只今大臣ノ御話デハ、委
員個人ノ意見ヂヤイカヌ、委員長ヲ通ジテ
ノ意見ナラバ考慮ニ入レヨウ、斯ウ云フヤ
ウナ御言葉デゴザイマスガ、委員長トシテ
適當ノ御計ヒデ、御發言ヲ求メテ御表示願
ヒタイ

○村上委員長 アナタノ御希望ニ付テハ、
此ノ際扱ヒ兼ネマスト云フコトヲ御答ヘ致
シマス

○松田(喜)委員 只今大臣ノ御答辯ハ、委員
一同ノ意見デアルト云フコトヲ、委員長ヲ
通ジテノ御言葉デアルカラ、之ヲ施行スル
上ニ於テハ能ク考慮スル、斯ウ御言明ノアツ
タコトハ、私ハ洵ニ心強ク思ヒマス、所ガ第二
段ニナリマシテ、皆同率ニセヨト云フコト
ニ付テハ、營團ト一般ノモノヲ差ヲ付ケテ
モ構ハヌト云フ意見ノヤウニ承ツタノデア
リマスガ、私共ハ洵ニ遺憾ニ思ヒマス、何
故カト申シマシタナラバ、私ガ先程申上ゲ
マシタヤウニ、畑ノ開田スルニハ、政府ノ
御意見ガ二百八十八圓デ、畑ヲ買入レ田ニ

スルニハ、少クトモ二百三十二圓程ノ經費
ガ要ルモノト見テ居ルト信ジマス、サウ致
シマス、畑ヲ田ニスルニハ、僅カニ補助
ガ九十二圓八十錢デアリマスカラ、補助率
ガタツタ一割八分ニシカ當ラヌ、畑ノ方ハ
一割六分ニシカ當ラヌノデアリマス、是デ
出来マセウカ、私共地方ニ居ル者ト致シマ
シテ、此ノ四割位ノ補助ヲ貰ウタノデハヤ
ツテ行ケナイト思ヒマス、既ニ小開墾ハヤ
リ盡シテ居ルガ爲ニ、是以上ヤレト言ツテ
モ中々出来ナイ、營團ノ方ニハ六割ノ補助
ヲ與ヘサヘスレバ、出来ルト思ヒマスガ、
吾々ハ此ノ重大ナ時局ニ際シテ、各々農村
民ガ一致團結シテ、ドウカシテ自給自足ノ
出来ルヤウニト云フ決意ヲシテ居ルノデス
カラ、政府モソレニ副フヤウ力ヲ入レルベ
ク、補助ヲ同率ニシテ、サウシテ早く此ノ
事業ヲ完成サセタイト思ヒマス、同率ニシ
テ御覽ナサイ、サウナレバ營團以外ノモノ
ハ、モウ男モ女モ家族總出デアリマスカラ、
美事ニヤリ遂ゲマス、然ルニ四割ト云フ是
ダケノ補助デハ實ハ不安ニ思フ、營團ノ方
ハ澤山ナ六割ノ補助モアリ、或ハ特典ガア
リ、元利金ノ辨濟ニ對シテモ補償ガ與ヘラ
レデアリマス、ソレマデ恩典ヲ與ヘテ居ル
ノニ、一方自作農創設ノ八万町歩ヲ初メ、
其ノ他ノ小開墾ノ方ハ、ソレガ僅カニ四割位
デ出来マスガ、今言ツタ田ナラバ一割八分、
畑ナラバ一割六分ニシカ當ラヌ、是デ出来
マスガ、私ハ非常ニ不安デアリマス、宜シ
ク補助ヲ同率ニスルト云フコトニ——全員
ノ希望デアリマスカラ、同率ニセラレンコ
トヲ望ム次第デアリマス

○服部(岩)委員 大體、先刻來此ノ委員會
ニ於テ最モ重要ニ考ヘテ參リマシタ點モ、

委員ヨリ或ハ委員長ヲ通ジテ御質問ガアリマシテ、此ノ點ハハツキリト致シタモノト思ヒマス、是以上質問スルコトハ差控ヘマシテ、吾々ハ大臣ノ此ノ聲明ニ對シテ敬意ヲ表シ、此ノ程度デ質問ヲ打切ツテハ如何デアリマスカ

〔贊成〕ト呼ブ者アリ

○村上委員長 是デ質疑ハ終了シタモノト認メマス、農地開發法案ヲ議題トシテ討論ニ入りマス——成島君

○成島委員 本法ノ目的デアリマス食糧需給ヲ、一層完全強化スル爲ニ、四箇條ノ希望條件ヲ附シテ本案ニ贊成致シタイト思フ

ノデアリマス、即チ其ノ第一點ハ勞力ニ關スルモノデアリマス、本計畫ヲ實施シテ所期ノ成果ヲ收ムル爲ニハ、勞力ガ根本デアルコトハ申スマデモアリマセス、併シナガラ農村ニ於ケル勞力ノ現狀ハ、各方面ニ吸收サレ、且ツ増産目的達成ノ爲ニモ、少カラズ勞力ヲ要スルノデアリマス、先日政府委員ノ御話ニ依レバ、本計畫實施ニ要スル勞力ヲ全國的ニ見テ、一戸當リ平均僅カ一%弱ニ過ギタイト云フ御答辯デアリマシタガ、斯カル觀念の算定ハ輕々シク承服致シ兼ネルノデアリマス、尙ホ一戸當リ耕地面積竝ニ勞力、勞働日數等ヨリ算出スレバ、數字ノ上ニハサウ云フ數字ガ現ハレテ參リマスガ、實際問題トシテ、現實ニ此ノ數字ヲ本計畫實施上ノ根柢トスルコトハ、甚ダシキ危險ヲ伴フモノト言ハナケレバナリマセス、全國全體ノ餘剩勞力ヲ對象トシテ、簡單ニ北海道カラ臺灣ノ果テマデ、一率ニ一戸ノ餘剩勞力ガ利用出來ルナラバ、此ノ算定ハ可能デアリマセウガ、政府ノ計畫通リノ勞力ガ、支障ナク平均シテ補給サレル

コトニハ、相當ノ困難ガ伴フコトヲ豫期シナケレバナリマセス、假令ソレガ不可能デナイトシテモ、勞力ノ配置ニハ無理ヲシテハナラヌト云フコトガ原則デアリマス、實際問題トシテハ、勞力ノ問題ハ、地方々々ノ實情ニ即シテ、地域のニ考慮解決サルベキガ至當ト思フノデアリマス、故ニ本計畫實施ニ當リマシテハ、政府ハ更ニ周到ノ注意ヲ以テ、勞力配置動員ニ萬全ヲ期シ、他産業ヲ侵害シ、相剋ヲ惹起スルガ如キコトノナイヤウニ、機宜ノ處置、對策ヲ講ゼラレタイト思フノデアリマス

第二點ハ既耕地ニ對スル問題デアリマスルガ、食糧ノ増産確保ノ上ニ於テハ、既耕地ノ絕對多收穫ニ第一義ヲ置クベキデアルコトハ勿論デアリマスガ、現在ニ於キマシテモ廢作地、又作付シマシテモ荒レテ居ル地ガ少クナイノデアリマスカラ、之ヲ防止復舊スルコトガ今日ノ急務デアリマス、又本計畫實施ノ餘波トシテ、若シモ既耕地ガ荒廢スルヤウナコトガアリマセバ、ソレコソ食糧増産ノ本末ヲ顛倒スルモノデアリマシテ、是ハ絕對ニ避ケネバナリマセス、政府ニ於カレマシテハ、宜シク適當ノ方策ヲ講ゼラレテ、斯カル憂ヒノナキヤウ、本計畫ト竝行シテ、既耕地保護ノ萬全策ヲ御採リ下サレンコトヲ望ム次第デアリマス

〔總員起立〕

○村上委員長 起立總員、本案ハ原案ノ通り可決ニナリマシタ(拍手)

一言御挨拶致シマス、連日ニ互ツテ段々御精勵シテ戴キマシタコトヲ、委員長トシテ深く感謝致シマス、委員長甚ダ不行届デアリマシテ、皆サンニハ隨分御無理モ申シマシタ、又不満足デアラセラレタコトハ澤山アルドラウト思ヒマス、ドウカ御許シ下サルヤウニ、此ノ機會ニ御詫ビ申上ゲテ御挨拶ト致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時十分散會